

9, 東京.

- 3) 水島 豊, 平田 仁, 森蔭俊彦, 坂本憲市, 矢野三郎: IFN α A/D と OK-432 併用による Met-h-A 腹水腫瘍に対する相対的効果について. 第46回日本癌学会総会, 1987, 9, 東京.
- 4) 村上巧啓, 松野正知, 佐伯陽子, 足立雄一, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 河合幸一郎, 荒川 良, 熊谷 朗, 佐々 学: ユスリカ喘息に関する研究 (VI) 室内および室外空中オオユスリカ抗原量の季節的変動. 第37回日本アレルギー学会総会, 1987, 10, 東京.
- 5) 河合幸一郎, 坂本憲市, 小西健一: ユスリカアレルギーに関する基礎的研究 (VI) 成虫の主要アレルギー及び種間交差反応性の検討, 第37回日本アレルギー学会総会, 1987, 10, 東京.
- 6) 柳ヶ瀬康夫, 青山和枝, 庄司 宏, 小西健一: ビブリオ OTAKE 株の病原性に関する研究. 第20回腸炎ビブリオ・シンポジウム, 1987, 10, 熊本.
- 7) 山岸高由, 久保義博, 小西健一: *C. perfringens* のエンテロトキシン産生性と MC lysate 感受性について. 第24回日本細菌学会中部支部総会, 1987, 10, 芦原 (福井).
- 8) 河合幸一郎, 林 光俊, 井上裕美子, 小西健一: ユスリカ・アレルギーに関する基礎的研究 (その7) 成虫アレルギーの解析及び種間交差反応性の検討. 第24回日本細菌学会中部支部総会, 1987, 10, 芦原 (福井).
- 9) 坂本憲市, 森永信一, モハメド・ハッタ, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究第10報—*Eubacterium lentum* (TYH-11) の腫瘍転移に及ぼす効果について (その3)—. 第24回日本細菌学会中部支部総会, 1987, 10, 芦原 (福井).
- 10) 森永信一, 坂本憲市, 小西健一: 腸内細菌の抗腫瘍活性に関する研究第11報—*Eubacterium lentum* (TYH-11) の抗腫瘍活性機序の検討 (その3)—. 第24回日本細菌学会中部支部総会, 1987, 10, 芦原 (福井).
- 11) 坂本憲市, 森永信一, 小西健一: Lewis lung carcinoma (LLC) の肺転移に及ぼす *Eubacterium lentum* (TYH-11) の影響について. 第2回富山腫瘍免疫研究会, 1987, 11, 富山.
- 12) 森蔭俊彦, 水島 豊, 佐々木孝逸, 矢野三郎, 坂本憲市, 小西健一: マウス腹水腫瘍に対する OK 432 と IFN 併用治療効果について. 第2回富山腫瘍免疫研究会, 1987, 11, 富山.

ウ イ ル ス 学

教 授	庭 山 清八郎
助 教 授	落 合 宏
助 手	林 京 子
助 手	黒 川 昌 彦
文部技官	吉 田 与志博

◆ 原 著

- 1) Ochiai H., Shibata M., Sato S., Hayashi K. and Niwayama S.: Single radial complement fixation test using NP-containing plates: a simple and sensitive method for the detection of influenza infection. *J. Virol. Methods* **15**: 151-158, 1987.
- 2) Masuyama K., Ochiai H., Niwayama S., Tazawa K. and Fujimaki M.: Inhibition of experimental and spontaneous pulmonary metastasis of murine RCT (+) sarcoma by β -cyclodextrinbenzaldehyde. *Jpn. J. Cancer Res. (Gann)*. **78**: 705-711, 1987.

◆ 学会報告

- 1) 落合 宏, 黒川昌彦, 庭山清八郎: マウスマクロファージ由来 P388 D 1 細胞でのインフルエンザウィルスの増殖. インフルエンザ研究者交流会, 第2回シンポジウム. 1987, 3, 熱海.
- 2) 増山喜一, 笠木徳三, 鈴木康将, 斉藤光和, 山下 巖, 石沢 伸, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 松井寿夫, 落合 宏, 庭山清八郎: OK-432 中鎖脂肪 (MCT) エマルジョン経口投与によるマウス人工肺転移抑制効果. 第87回日本外科学会, 1987, 4, 東京.
- 3) 名古屋輔, 窪田靖夫, 林 京子, 落合 宏, 庭山清八郎: ハイブリダイゼーションによる HSV-1 DNA の検出. 第91回日本眼科学会総会, 1987, 5, 京都.
- 4) 日比野康英, 浅野 哲, 黒川昌彦, 菅野延彦: ラット肝高度反復配列 DNA と細胞核 Scaffold (足場) 蛋白質について. 日本生化学北陸支部会第5回年次大会, 1987, 5, 富山.
- 5) Nishino H., Ochiai H., Momose Y., Araya A. and Ono T.: Ganglioside facilitates survival and maintenance of calcium current in cultured rat chromaffin cells. The 2nd World Congress of Neuroscience (IBRO), 1987, 8, Budapest.
- 6) Ochiai H., Kurokawa M., Hayashi K. and Niwayama S.: Antibody-mediated replication of influenza NWS virus in a macrophage-like cell line, P 388 D 1. The 7th International Congress of

- Virology, 1987, 8, Edmonton.
- 7) Murakami T., Ochiai H. and Matsuyama T.: Increased frequencies of antigenic variants of influenza A virus grown in the presence of human leukocytes. The 7 th International Congress of Virology, 1987, 8, Edmonton.
 - 8) 落合 宏, 増山喜一, 松井寿夫, 田沢賢次, 庭山清八郎, 藤巻雅夫: β -Cyclodextrin-benzaldehyde (CDBA) のマウス肺転移抑制効果 (第2報). 第46回日本癌学会総会, 1987, 9, 東京.
 - 9) 増山喜一, 落合 宏, 石沢 伸, 山下 厳, 松井寿夫, 田沢賢次, 庭山清八郎, 藤巻雅夫: C3H/He マウス由来 RCT (+) Sarcoma の実験肺転移形成における NK 細胞と H-2 との関連. 第46回日本癌学会総会, 1987, 9, 東京.
 - 10) 川腰利之, 山下 厳, 前田正敏, 増山喜一, 吉田真佐人, 鈴木康将, 笠木徳三, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 落合 宏, 本田 昂: レンチナン抱埋リポソームのラット肝転移抑制効果. 第46回日本癌学会総会, 1987, 9, 東京.
 - 11) Suzuki Y., Tazawa K., Masuyama K., Yamashita I., Sawataishi M., Arai H., Kasagi T., Ochiai H., Sugano N. and Fujimaki M.: Anticarcinogenic action of water-soluble fraction (LEM) from culture medium of *Lentinus edodes* Mycelia (V). 第46回日本癌学会総会, 1987, 9, 東京.
 - 12) 加賀英俊, 小熊 豊, 高橋 薫, 櫻川信男, 落合 宏, 黒川昌彦, 庭山清八郎: 小柴胡湯のマウス免疫能におよぼす影響について. 第29回日本臨床血液学会総会, 1987, 10, 千葉.
 - 13) 山下 厳, 田沢賢次, 増山喜一, 石沢 伸, 新井英樹, 吉田真佐人, 鈴木康将, 笠木徳三, 坂本 隆, 藤巻雅夫, 川腰利之, 前田正敏, 本田 昂, 落合 宏: ラット肝転移に対するレンチナン抱埋リポソームの抑制効果. 第25回日本癌治療学会総会, 1987, 10, 札幌.
 - 14) 落合 宏, 黒川昌彦, 林 京子, 庭山清八郎: 抗体存在下におけるインフルエンザウイルスのマクロファージ由来 P 388 1 細胞における増殖. 第24回日本細菌学会中部支部総会, 1987, 10, 福井.
 - 15) 落合 宏, 黒川昌彦, 林 京子, 庭山清八郎: クラミジアの β -lactam 系抗生剤感受性とペニシリン結合蛋白質について. 第24回日本細菌学会中部支部総会, 1987, 10, 福井.
 - 16) 増山喜一, 落合 宏, 石沢 伸, 山下 厳, 松井寿夫, 黒川昌彦, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 庭山清八郎: C3H/He マウス由来 RCT (+) Sarcoma の H-2 の表現性と NK 細胞に対する感受性, 転移能との関連について. 第24回日本細菌学会中部支部総会, 1987, 10, 福井.
 - 17) 落合 宏, 黒川昌彦, 林 京子, 庭山清八郎: 抗体結合インフルエンザウイルスのマクロファージにおける増殖. 第35回日本ウイルス学会総会, 1987, 11, 京都.
 - 18) 落合 宏, 黒川昌彦, 庭山清八郎, 増山喜一, 石沢 伸, 山下 厳, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 松井寿夫: C3H/He マウス由来 RCT (+) Sarcoma の H-2 の表現性と NK 細胞に対する感受性, 転移能との関連について. 第2回富山腫瘍免疫研究会, 1987, 11, 富山.
 - 19) 増山喜一, 田沢賢次, 笠木徳三, 山下 厳, 石沢 伸, 藤巻雅夫, 松井寿夫, 落合 宏, 庭山清八郎: OK 432 中鎖脂肪 (MCT) エマルジョン経口投与によるマウス肺転移抑制効果. 第2回富山腫瘍免疫研究会, 1987, 11, 富山.
 - 20) Hayashi T., Kawasaki M., Omura K., Arisawa M., Shimizu M., Hayashi K., Niwayama S., Berganza L. H. and Morita N.: Cytotoxic and antivirally active diterpenoids from *Scoparia dulcis* L. Japanese-United States Congress of Pharmaceutical Sciences'87. 1987, 12, Honolulu.

薬 理 学

教 授	中 西 穎 央
助 教 授	武 田 龍 司
助 手	百 瀬 弥寿徳
助 手	山 崎 弘 美
文部技官	西 口 慶 子

◆ 原 著

- 1) Haji A. and Takeda R.: Depression of respiratory-related nerve activities by ethanol and diazepam. *Jan. J. Alcohol & Drug Dependence* **22**: 224-233, 1987.
- 2) Haji A. and Takeda R.: Effects of acetaldehyde on the monosynaptic reflex pathway in the cat spinal cord. *Arch. internat. Pharmacodyn.* **289**: 25-36, 1987.
- 3) Yamazaki H., Nishiguchi K., Yasuyama T. and Nakanishi S.: Effects of bromobenzene, thioacetamide and carbon tetrachloride on activities of alcohol dehydrogenase and aldehyde dehyd-